

1. 事後評価の実施

(1) 実施時期

令和2年2月下旬	施設利用者（児童・生徒）にヒアリング
令和2年3月上旬～中旬	市ホームページに評価結果を掲載
令和2年3月下旬	担当課により再評価

(2) 評価の方法

- ①施設利用者（児童・生徒）にヒアリング
トイレ洋式化前後について施設利用者（児童・生徒）に向けヒアリングを実施し、利用状況や意見・感想等を聴衆する。
- ②市ホームページに評価結果を掲載
事後評価を市ホームページに公表し、市民等から幅広い意見を求める。
- ③担当課により再評価
得られた意見・感想等を基に担当課において再評価を実施する。

2. 総合的な所見

施設整備計画の目標は概ね達成できた。
今後は、学校施設が築後40～50年を迎えるにあたり、施設の新築ではなく改築、改修が主になることが考えられる。このため、本市では平成30年度に学校施設の長寿命化と予防保全を計画的に実施するため個別施設計画を策定した。
これらを踏まえ、今後は学校施設について築年数と老朽化状況を鑑みた計画的な改築、改修を行い、老朽化対策と教育環境の質的向上を相乗的に図る。

3. 各目標の達成状況

(1) 公立の義務教育諸学校等施設の老朽化対策を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

--

(2) 地震、津波等の災害に備えるための整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(3) 防犯対策など安全性の確保を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

浅羽東小学校、袋井南中学校についてトイレの洋式化、床の乾式化等の改修を行った。これにより、小・中学校のトイレの洋式化率が前年度37%であったものが40%となり、3%の向上となった。

また、児童・生徒から、清潔感が出て明るくなったため利用しやすくなった、掃除がしやすくなった等の意見・感想が多数あり、教育環境の改善が大いに図られていることが分かった。

(5) 施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

4. 改築後の危険建物等のとりこわし状況

7. 事業ごとの実施状況

学校等の名称	目標	事業区分	整備方針				事業完了年月日	(実施しなかった場合) 未実施の理由・今後の対応予定等	備考 (改築事業は、旧施設の とりこわし時期を明記)
			事業単位	建物区分	構造区分	全事業期間 (契約～完成)			
浅羽東小学校	(4)	07	大規模改造 (トイレ)	校	R	H31.1～H31.3	H31.3.22		
袋井南中学校	(4)	07	大規模改造 (トイレ)	校	R	H31.1～H31.3	H31.3.6		